

令和5年度手話施策に関する意見交換会「旭川市手話言語ワークショップ」 アンケート結果

来場者数 65人 (第1部講演及び第2部ワークショップ59人,
第1部講演のみ1人, オンライン5人)

1 回答者(39名)

聴覚障がい者	4人
手話サークル等の関係団体に所属	16人
市民	17人
その他(社会福祉協議会職員, 市職員)	2人

2 講演についての意見・感想

- ・聞こえる自分は想像できていなかった事柄を教えていただき、貴重な経験となった。
- ・災害が起きた際のろう者の不安や情報収集の困難さ等がよく分かった。
- ・災害時の配慮について改めて考える機会となった。災害時、ろう者にとってはさらに大きな不安を感じていることを忘れず、災害時に対応できるよう最低限の手話(災害に関する)を覚えておきたい。
- ・Net119の存在を知らなかった。周りにも伝えたい。

3 ワークショップの意見・感想

- ・様々な立場の方から経験談や意見を聞いてよかった。
- ・健聴者,ろう者が同じテーマについてディスカッションする方法がとても良かった。
- ・立場や経験の違う人達のそれぞれの意見を聞いてとても良かった。今後どう行動すべきか,何を準備すべきかを考える手がかりが得られた。
- ・次回はろう者の避難訓練などをしてみたい。
- ・聞こえない人ばかりのところに聞こえる人が1人だけという状況ならどうなるか?を体験するのも一考かと思う。
- ・もっと実際の災害時に生かされる内容の話し合いが必要と思った。
- ・1グループの人数が多くて大変だった。もう少し人数を少なくしてほしい。(複数)

4 旭川市の手話施策について意見

- ・2~3か月に1回位,少しでも手話ができる人の集いや勉強会等を開催してほしい。
- ・手話を新たに学びたい若者に向けてサークル等の手話を学ぶ場を検索しやすいようにしてほしい。
- ・手話に関心のない方にもっと興味を持ってもらいたい。
- ・今後もこういったワークショップや講演会を開催してほしい。
- ・手話に限定されると参加しにくい人もいるかも。ハードルが高く感じてしまう。